

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
 ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

学校教育目標 「たくましく 学びを紡ぐ やなぎの子」
 ○確かな学力を身に付け、学ぶ楽しさを実感させる授業

4月

学力向上目標①

○さいたま市学習状況調査の算数の平均正答率を、令和元年度の値より 5pt 向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

ICT を活用した、基礎学力定着プログラムを朝学習で実施する。ドリル等の適用問題を繰り返し行い、基礎基本の習熟を図る。

開始期日

4月中

具体的な手立て

- ・令和2年度さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握。
- ・タブレット学習の準備・校内研修等を行い、を作成（4月中）
- ・週に1回、タブレットを活用した朝学習を実施する。（4月中に開始）

8月

本年度の振り返り

各学年で、基礎基本を重視した取り組みを授業や家庭学習で取り組ませることができた。朝学習の時間も効果的に活用できた。
 また、ICT機器を活用した学習の推進やスタディエッセンスの活用を推奨などを通して、学力の向上に努めた。

達成度

70%

2月

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

今年度と同様に、確かな学力を身につけるための基礎的な学力の向上を図る。
 ドリルや習熟プリントを用いて、基礎基本の習熟を促していく。

4月

学力向上目標②

○さいたま市学習状況調査の国語「書くこと」の平均正答率を、令和元年度の値より3pt向上させた値にする。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

全学年において、週に1度「書く」課題を出し、中・高学年については、自主学習も促す。視写をする活動を取り入れる。

開始期日

9月中

具体的な手立て

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握。
- ・家庭学習の手引きの内容の精選、修正。
- ・週に1度、文章を書く課題を出す。(9月開始・1年生は10月から開始)

8月

2月

本年度の振り返り

個人面談の際に家庭学習の手引きを配付、説明し、家庭での協力体制の構築に努めた。各学年の実態に応じて、書く活動を家庭学習を中心に取組んだ。

達成度

70%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

今年度同様、自分の思いや考えを表現する力を高めていく。
引き続き、家庭学習で書く活動を日常的に行っていくようにする。